

こどもたちの学びと成長を支える 地域学校協働活動

地域学校協働活動は、地域の皆さんや保護者の方々、地元の団体などが一緒になって、地域全体でこどもたちの学びや成長を支える取り組みです。この活動を通じて学校と地域が手を取り合い、パートナーとして協力し合うことを目指しています。

近年では、社会が大きく変化し、こどもたちを取り巻く環境も複雑になっています。こうした状況から、「社会のつながりの中で学ぶこと」が重要であるとされており、それによりこどもたちは、自分の力で人生や社会をよりよくできるという実感を持つことができます。

こどもたちが、これからの変化が激しい社会において困難を乗り越え、未来に向けて進む希望や力となるよう、「社会に開かれた教育」が地域社会全体に求められており、その中心には地域学校協働活動推進員がいます。

地域学校協働活動の主な内容

登下校の見守り

学習支援

放課後子ども教室

校内環境整備

など



学校運営協議会と 地域学校協働活動の違いは？

学校運営協議会は学校の運営に地域住民が参加する仕組みで、地域学校協働活動は学校や地域全体でこどもを支える活動です。頭脳と手足が連携し、課題解決や地域づくりを目指します。

地域学校協働活動推進員の方々



一色小学校区
橋本 由恵さん



二宮小学校区
山内 みどりさん



山西小学校区
井上 登志子さん



二宮西中学校区
泉 直英さん



二宮中学校区
石井 文さん

町では、国が推進するこの活動を取り入れ、地域学校協働活動をスムーズに進めるために「地域学校協働活動推進員」を各学校区に1名ずつ配置しています。推進員は、活動の企画や地域のボランティアの募集、学校と地域の橋渡し役として重要な役割を担っています。

地域の皆さんが活動に参加いただくことで、こどもたちの健やかな成長に寄り添い、応援することができます。推進員からお声がけがあった際には、ぜひご協力いただき、皆さんの力で一緒に未来を育てていきましょう！

推進員の役割

地域や学校の実情に応じた
協働活動の企画・立案

地域ボランティアの確保

学校や地域住民、
団体・機関などの
関係者との連絡・調整

など



図 生涯学習課生涯学習班(☎72-6912)